



この訓練を契機に、もっと知識の幅を広げるべきという意識が芽生えました。

*訓練前の状況を教えてください。

生産性向上のための業務の標準化や属人性の排除がなかなか進んでいない状況で、社員のスキル格差も大きく、一部の社員に業務が集中し、それらの社員に負担がかかることが常態化していました。

また、これらの課題を解決していく中間管理職の部課長の育成も滞っていました。

現状に対する危機感を持つ中、ポリテクセンター京都から説明をうけ、多種多様な生産性向上のための訓練を初めて知り、管理職への基礎的教育を実施することになりました。

*訓練を利用した感想、および受講者や職場の変化はありましたか。

マネジメントの基本と管理職に期待されている役割を参加者に理解させることができ、それをベースに具体的な問題解決能力をどう高めていくかを学べて良かったです。

さらには、今回の訓練で管理職それぞれの悩みの根本的な原因が特定でき、参加者同

士、同じような悩みを抱えていることも認識できました。

課題解決におけ全社で共通認識ができたことで、今後の解決への糸口が見出されたと感じています。

この訓練を契機にもっと知識の幅を広げるべきという意識が芽生え、公開研修やセミナー等への参加が増えつつあります。

受講者の声

- *問題の洗い出しと解決への論理的（計画的）な考えが学べた。
- *体系的な課題解決のツール・進め方を学んだ。
- *今まで我流でしてきた事を、ツールを使うことによって平準化できると感じました。
- *各部門の課題が共有できた。
- *管理職同士で話し合う機会が少なく、今回は有意義な意見交換ができた。
- *管理職業務を見直す機会となった。
- *実際に社内で生じる問題・課題解決に役立つ。
- *孤軍奮闘するだけでなく、管理職をフォロー・支援していく社内体制も必要不可欠であることを痛感した。

大和電設工業株式会社

事業内容

電気・通信ネットワークの構築及び保守運用
IT機器の導入並びにインフラ環境の構築支援

会社概要

京都市南区吉祥院池ノ内町83
設立 1952年 従業員数 108人

利用訓練コース

管理者のための問題解決力向上（令和3年7月）